



オープニングセレモニーで本学学生も交わりフレンドリーショット

期間における教育研究分野の連携強化を期待するとの言葉をいただきました。2日目から6日目までのプログラムにおいて学内外施設で実施した視察・研修は、まず学内では、サイバニクス研究センターにおいて、ロボット工学、情報技術(IT)、人工知能などの異分野を融合した新領域技術の視察及びセミナーへ参加し、研究基盤総合センターでは、静電加速器及び放射性同位元素を利用する物理計測、高エネルギーに加速されたイオンを粒子検出器で計数する加速器質量分析システム等について実験を交え説明を受けました。更にエンパワーメントスタジオでは、世界最大のVRシステムを実体験することができ、情報学分野で新たに体系化された「エンパワーメント情報学」について学習しました。それぞれの施設において、実際に機器を操作し、実験等を目の前で見ることができたことで、各々問題意識が感じられ、学生から積極的かつ専門的な質問が多数出ました。

筑波大学グローバルコモンズ機構では2018年12月4日から11日にかけて、ロスアンデス大学(コロンビア共和国)の学生10名と教員1名の計11名を招へいし、「日本の最先端科学及び産業技術体験プログラム」をテーマに、本学の教育研究施設や筑波研究学園都市の研究機関、更には民間企業での産業技術の視察及び現場体験等を取り入れ、多岐にわたる日本の最先端科学技術について理解と関心を高める研修プログラムを実施しました。初日の12月4日にオープニングセレモニーを開催し、来賓としてご出席いただいたアレハンドロ・ポサダ在日コロンビア臨時代理大使から、本プログラム実施に関わる科学技術振興機構(JST)と本学への謝辞と今後二



ベントン・キャロライン 筑波大学副学長(国際担当)

筑波大学の活動報告

科学技術振興機構 『さくらサイエンスプラン』 友情と感激

II 特別シリーズ II

第190回

プログラム内容	
1日目	来日学生寄宿舎入居開講セレモニー(コロンビア臨時代理大使・留学生との交流)
2日目	サイバニクスセンターなど、学内施設の見学
3日目	日本の産業技術視察：前川製作所守谷工場 学内視察：エンパワーメントスタジオ 中南米からのポスドクによるセミナー受講「日本で研究するにあたって」
4日目	日本の最先端科学技術視察：JAXA筑波宇宙センター、サイバーダイナスタジオ
5日目	日本の防災危機管理施設見学：首都圏外郭放水路
6日目	実習：成果報告まとめ、プレゼンテーション準備
7日目	演習：成果発表プレゼンテーション、日本人学生との意見交換会
8日目	学生寄宿舎退居、帰国



JAXAで宇宙体験



研究基盤総合センター低温部門で実験を見入る



修了式で修了証を交付され嬉しく記念撮影

修了式で修了証を交付され嬉しく記念撮影



エンパワーメントスタジオで世界最大のVRシステムを体験

エンパワーメントスタジオで世界最大のVRシステムを体験

学外での視察・研修は、本学の世界展開力強化事業(中南米等)において連携協力体制にある(株)前川製作所の守谷工場で、産業用冷凍機、冷凍・冷却システムにおける技術開発に関する工場見学会を実施していただき、国際的に成功している独自の社員教育と生産過程における緻密なルールについて理解を得ることができました。また、最先端ロボットHAL®の開発を行っているCYBERDYNE(株)が運営するサイバーデザインスタジオでは、実際に先端福祉機械を装着させていただきました。更に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センターで宇宙開発技術の視察を行い、世界最大級の洪水対策施設である首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市)では、最新テクノロジーを駆使したさまざまな施工技術や管理システム、巨大放水路を支える主要施設、放水システム等について学習することができました。

最終日の12月11日に、本プログラム招へい者による成果発表会を実施し、全員がプレゼンテーションを行いました。特に学生のプレゼンテーションでは、視察したすべての施設において日本人特有の優しさやおもてなしに触れることができ、日本の高い科学技術力やクリンな現場環境に感銘したので今後経験したものを自国にどう役立てていくか考えていきたい、という内容の発表が相次ぎました。今回の施設視察や現場体験等を通じて、日本の科学技術水準の高さを実感いただき、今後本学に限らず、日本の大学において短期研修や交換留学に参加し、日本文化や科学技術に関する勉強したいという希望者が多くいたことは、本プログラムの、中南米地域の将来を担う学生を招へいし、世界最先端の科学技術の一端に触れることができる機会を提供することに幅広視野を持って社会に貢献し、日本との架け橋になり得る人材の育成に資する体験を行わせる、とした目的は十分達成できたと自負するところです。

〈今後の展望〉

〈今後の展望〉

本学はこれからも中南米地域の大学間と持続的発展と地球規模課題の解決に向けて広く社会の安定に貢献できる中核的な実務人材の育成を目標とした交流を進展させ、太平洋を越えた多様な重層的な人材ネットワークの構築及び両地域の更なる発展と互恵関係の持続的な社会の安全・安心への寄与を目指してまいります。その活動事業の一環として、今後、毎年さくらサイエンスプランに参加させていただき、関係分野に優れた教員・学生を招へいし、両地域の科学技術分野における交流を一層深めていく計画を進めてまいります。